

平成 28 年度 春季勉強会

『プレゼンテーションを学ぶ』

公益社団法人 日本放射線技術学会 近畿支部
学術委員会

「研究発表スライドのグローバルデザイン」

Part I 日英共通の書式ルール

Part II 書式ルールと基本表現

金沢大学医薬保健研究域保健学系 田中 利恵

「研究者にとっての英語」

Part I 英語との上手なつきあい方

Part II 伝えるための英語スライドの作成法

熊本大学大学院生命科学研究部 白石 順二

研究発表で一番大事なことは、何が目的で、どんな方法で、どんな結果が得られ、そして、その研究成果が何の役に立つか、ということを発表会場に来てもらった皆さんに伝える(つまり、コミュニケーションする)ことである。もし、そのスライドの内容が日本語でも上手に内容が伝わらないのであれば、それを英語で伝えることは不可能である。逆に、わかりやすい日本語スライドは、言語を変えてもわかりやすいものになる。本セミナーでは、私たちノンネイティブが英語スライド作成にどう取り組めばよいのか？基本方針・目標・対策を明確にし、英語スライド作成に必要な実践テクニックを紹介する。英語でのスライド作成スキルだけでなく、研究発表の基本的な考え方を理解することで、皆さんの研究発表の質を向上させる機会として活用いただきたいと思う。

「プレゼンテーションの神様によるプレゼンの極意」

株式会社ジー・インク Garr Reynolds

【講師紹介】

➤ 略歴

プレゼンテーションの世界的な第一人者。スティーブ・ジョブス流のプレゼンに日本文化「禅」を融合させた手法は、“世界で最もシンプル”なメソッドとして名高い。企業向けの研修やコンサルティングのほか、世界中の企業や大学に招かれて、セミナーを行う。著書『プレゼンター

シオンZen』は世界20カ国語以上に翻訳され、30万部を超えるベストセラーに。その他の著書には『プレゼンテーション Zen デザイン』、『裸のプレゼンター』、『シンプルプレゼン』などがある。住友電気工業や米アップルでの勤務を経て、2003年より関西の大学にて教鞭をとる。日本において禅アートを長年研究しており、日頃よりプレゼンテーションについての考えを自身のウェブサイト『PresentationZen.com』で紹介している。